

「私のふるさととは、空と海と砂と松林であった、そして吹く風であり風の音であった」坂口安吾。安吾の家は別邸の隣、西大畑地域は町のはずれの寂しい所でした。

幕末には幕府の四番御林に指定され、砂防の為に多くの松が植えられました。別邸はこの地に大正七年に建てられました。別邸に入ると一番に気づくのが約百五十年前に植えられた大きな黒松です。大きな赤松と対峙し、庭を引き締めています。

十月の中頃から紅葉が始まり、池の端のニシキギが赤く染まり始めます。紅葉の序曲の始まりです。ドウダンツツジが黄色から徐々に赤に、そして背の高いモミジが陽のあたる暖かいところから染まり始めます。ニシキギが真赤に染まったころ、庭のさまざまな木



白山公園内の説明（特別企画ガイド）

一瀬重徳を一期生、二期生の方は知っておられると思います。新潟シティガイド発足期には、西大畑エリアに属し、会の運営に尽力した方でした。彼と私は一ちゃん間さんと呼び合う仲で、町歩きの調査では殆ど一緒に街中を歩きました。街中の案内役は私で一ちゃん、関連する写真や文献を探してくれました。彼は、中国大陸からの引揚者で、

「ヒッコリー」が注目されています。新潟市民に「ゆかり」として愛されていたお菓子、湯飲みに入れお湯を注ぐと沈んでいたものが、数秒で周りの砂糖

「ヒッコリー」が注目されています。新潟市民に「ゆかり」として愛されていたお菓子、湯飲みに入れお湯を注ぐと沈んでいたものが、数秒で周りの砂糖

平成二十二年の暮、外出先から帰った彼は、自宅玄関で脳障害を発症して倒れ、近くの脳治療では有名な病院に入院しましたが、発見が遅く、右半身、言語、食物嚥下に障害が生じました。歩行、言語リハビリなど行いましたが、快方に向かわず、翌年七月、介護施設に入所しました。最近、介護施設に「会報」を持って会

平成二十二年の暮、外出先から帰った彼は、自宅玄関で脳障害を発症して倒れ、近くの脳治療では有名な病院に入院しましたが、発見が遅く、右半身、言語、食物嚥下に障害が生じました。歩行、言語リハビリなど行いましたが、快方に向かわず、翌年七月、介護施設に入所しました。最近、介護施設に「会報」を持って会

平成二十二年の暮、外出先から帰った彼は、自宅玄関で脳障害を発症して倒れ、近くの脳治療では有名な病院に入院しましたが、発見が遅く、右半身、言語、食物嚥下に障害が生じました。歩行、言語リハビリなど行いましたが、快方に向かわず、翌年七月、介護施設に入所しました。最近、介護施設に「会報」を持って会

広報からのお願い

- 1 広報紙「新潟シティガイド」の原稿依頼
広報紙の紙面は、会員の皆さんの投稿原稿で成立っています。原稿依頼をお願いすることがあります。原稿依頼をお願いします。
- 2 「新潟まち歩きブログ」への投稿依頼
「新潟シティガイド」をより多くの方に知っていただくため、投稿をよろしくお願ひします。なお、原稿をいただければ代わって投稿もいたします。

私のお勧めスポット



山下 範子

「私のふるさととは、空と海と砂と松林であった、そして吹く風であり風の音であった」坂口安吾。安吾の家は別邸の隣、西大畑地域は町のはずれの寂しい所でした。

十月の中頃から紅葉が始まり、池の端のニシキギが赤く染まり始めます。紅葉の序曲の始まりです。ドウダンツツジが黄色から徐々に赤に、そして背の高いモミジが陽のあたる暖かいところから染まり始めます。ニシキギが真赤に染まったころ、庭のさまざまな木



旧齋藤家別邸の紅葉

ツジ、サツキと、花が絶える事があります。モミジの葉が落ち、紅葉は徐々に梢だけに。そしてにぎやかだった色彩が常緑の松、モッコクの緑にだけになります。

ツジ、サツキと、花が絶える事があります。モミジの葉が落ち、紅葉は徐々に梢だけに。そしてにぎやかだった色彩が常緑の松、モッコクの緑にだけになります。



迫 一成さんと「浮き星（うきほし）」

「ヒッコリー」が注目されています。新潟市民に「ゆかり」として愛されていたお菓子、湯飲みに入れお湯を注ぐと沈んでいたものが、数秒で周りの砂糖

シティガイド特別企画



齋藤 敬子

一月四日、特別企画に参加して集合場所の市役所でお客様を待った。ちょうど朝からの雨が一段と強くなって、キャンセルされる方がいらつしやるのではと案じる中、順次笑顔で集合された時に二名で出発。

「北前船の文化と新潟芸妓の歩み」を終えて



一瀬重徳さん

「ヒッコリー」が注目されています。新潟市民に「ゆかり」として愛されていたお菓子、湯飲みに入れお湯を注ぐと沈んでいたものが、数秒で周りの砂糖